

# T.H.NEWS-066

『デジタルとアナログ』の融合と『古書の世界』  
拡大を目指す者の不定期発行情報紙です。

冬らしき冬から春の到来を感じる季となりました。花粉の飛散も本格的に始まったようですね。花粉対策の薬を服用している身としては気になるところです。

まもなく、3.11 東日本大震災から一年が経ちます。ちぐはぐな復興対策というか、原発の影響というか、国政の不安定が影響しているのか、被害を受けられた方々は未だに大変なご苦勞をされています。お見舞い申し上げます。しかし、被災者の一部には特例の失業保険を受け取りながら遊興費に充てている人がいると言う現実が報道される、この矛盾は早急に改善すべきでしょう。

ロシア極東で一ヶ月以内に大地震が発生すると予測するニュースが流れました。日本においても首都直下の大地震が何時起きても不思議ではない状況とのニュースもあります。被害甚大な直下型地震に遭遇したら、日本の経済は大打撃、経済的日本沈没があり得ます。天災に負けぬよう自然との共生を一層意識すべきなのでしょう。一人ひとりがしっかりと対応できますように。

今、新宿サブナード2丁目広場に「古本浪漫洲」を開催中です。5日間毎に参加書店が入れ替わり、それぞれの特色を出しながら販売しております。当店も3月4日(日)から8日(木)迄のPart5に5日間出店します。本日同封しました“えぼっく 81号”に掲載しました商品はこのPart5に出品し、新入荷著名本も200冊程度展示販売します。

今回、“知りたい昭和39年”をテーマに小さなコーナーを作っていますが、注目度は高いようで、オリンピックやビートルズ関連はよく売れています。東海道新幹線や高速道路関連のパンフレットやチラシも売れています。これらには、本とは違った伝わり方があるので楽しいですよ。

最終二日間は恒例となりました“300円均一”大会です。毎回、纏めて購入される方が多く、販売数量は特段多い二日間です。300円なら読んでみるかと思える本がたくさんありますので是非お立ち寄りください。

今回は9月の予定です。

編集&発行人 Profile 花井敏夫  
合資会社金井書店 代表社員  
東京駅八重洲大地下街商店会理事 宣伝委員長



Office: 合資会社金井書店営業本部  
〒161-0032  
東京都新宿区中落合4丁目21番16号  
TEL 03-5996-2888  
FAX 03-3953-7851  
URL <http://www.kosho.co.jp>  
E-mail: [hanai@kanaishoten.jp](mailto:hanai@kanaishoten.jp)  
発行日 2012.3.1

ある日一本の電話がありました。古家にある本を引き取って欲しいと。但し、既に近所の古書店が来て、道具屋さんとともに引き取ったあとだが、まだまだ本が残っているとのことでした。通常は、この時点でお断りすることとなるのですが、お話ししているうちに何故かお伺いすることとなりました。

築3~40年の二階建てと築7~80年の平屋の二棟がありました。確かに本棚に残っている本は評価することができないモノばかりです。廊下や畳の上に無造作に積まれた本たち。湿気で傷んだ本たちもたくさんありました。物置には著名な作家の名がある額縁の空き箱がいくつもありました。やはり抜け殻か。しかし、何かありそう。電気も既に切られていて懐中電灯が必要な状況では日が暮れたら何も見えません。この日は古道具や雑貨を積み込んで、改めて出直すことにしました。

日を改め朝から宝物探しを始めました。快晴ですが古家の室内は薄暗く懐中電灯が手放せません。引き出し、引き戸、屋根裏まで覗き込みました。古い段ボールから書類や書簡、チラシ、案内書などを発見。押入の傷んだ本の下から写真帖を発見。先に入った古書店、道具屋さんたちは何を見ていたのだろうか？

実は、お祖父さまが中野学校で教鞭を執り、軍人と聞いていたので、軍事関係の資料に出逢ったら幸いと思ったのが、行ってみようという判断に繋がったのです。お祖父さまと言われて思い込んでいたのはお客さまの直系のこと。実は、母方のお祖父さまでしたので姓が違っていたのです。史料から判ったことは「大佐」まで務めた方で、ノモンハン事件のきっかけとなった電報を発信した方と兄弟であったことも判りました。戦争のこと、戦地の様子が記された書簡類が出てきたら“新発見”もあったのですが、親子間の私信ばかりでした。ある



期間の、断片的な史料でしたので、軍人さんの実家には相当な史料が残っていたのだろうと推察すると残念でなりません。

でも、歴史上の人物の一端に触れることは、やはり楽しいですね。厳しい戦時下における一人娘への思いやりや生活ぶりが思い浮かび、ぬくもりが感じられます。

こちらのお宅からは格調高い帽子や駱駝の皮製電気スタンド、雑貨、陶器などさまざまなモノを引き取りました。最近、単に廃棄すればよいと言うよりも、できれば再利用して欲しいと思う方が多くなっているように思います。今回のケースも同様でした。橋渡しをして欲しいと。

小物であれば R.S.Books でも売れるモノがあります。古書だけでなく、版画やポスター、絵葉書を求める方がいるように、古いモノに興味を持つ方がいらっしゃいますので、楽しそうなモノにはチャレンジしています。時として下手物もあるかもしれませんが、ご愛嬌とお遊ばいいただければ幸いです。

本がたくさん並んでいれば良いという“古書店像”はそろそろ終焉を迎えるのかもしれませんが。電子化により容易に得られる情報は“本”と言う形態を求めなくなるように思います。電子化されていない情報やオリジナルな情報を発掘し提供することが古書店の重要な業務となるのではないのでしょうか？

ワクワク、ドキドキするモノ、面白そうだけれど訳のわからないモノ・・・、それぞれの時代に残されたモノ、

ハートをくすぐるモノを求めて奔走したいと思います。書物を伝えると共に書物の中にあるモノ、新たな発見を求めるモノを。本・書物を中心に古いモノがありましたらご相談ください。ワクワクドキドキするお話であれば、遠方にも自ら2トン車のハンドルを握って参上いたします。お気軽に声を掛けてください。

東京駅丸の内駅舎の復元も進み、今秋には美術館、ホテルと共にオープンします。そして、八重洲口には巨大クレーンが4本そそり立ち、八重洲口駅舎の本格的な工事が進行中です。大丸東京店の増床工事も順調に進み、9月にはオープン予定です。

昭和26年に完成した鉄鋼ビルも第二鉄鋼ビルと共に超高層ビルに生まれ変わります。数年後には呉服橋から鍛冶橋までの線路沿いは近代的な建物で揃い踏みとなります。八重洲の変貌はますますスピードアップし、そのパワーが“街の異空間”R.S.Booksにも新風を送り込むことでしょう。想定外のお客さまの目にとまるかもしれませんから。ドキドキ、ワクワク、皆さまと共に私たちも変貌していきたいと思っています。今後とも相変わりがせずお引き立て賜りたくよろしく願いいたします。

金井書店 花井敏夫

## 参考 WEB

【日本の古本屋】 <http://www.kosho.or.jp>

【八重洲地下街】 <http://www.yaechika.com>

Twitter <http://twitter.com/yaechika>

【新宿サブナード】 <http://www.subnade.co.jp/>

【金井書店】 <http://www.kosho.co.jp>

【スタッフからの情報】

ブログ [http://www.kanaishoten.jp/staff\\_blog/](http://www.kanaishoten.jp/staff_blog/)

Twitter <http://twitter.com/rsbooks>

※ハッシュタグ #金井書店

【金井書店グループ通信】購読申込

<http://www.kanaishoten.jp/c/>

